

## PRESS RELEASE

2019年7月3日

株式会社インターネットイニシアティブ

### IIJ、Webアクセスのトラフィックをクラウド上で振り分ける 「IIJクラウドプロキシサービス」を提供開始

-- IIJ Omnibus サービスの機能を拡充し、Office 365などSaaSの通信経路制御をクラウド上で実現 --

株式会社インターネットイニシアティブ (IIJ、本社:東京都千代田区、代表取締役社長:勝 栄二郎、コード番号:3774 東証第一部)は、クラウド型の SD-WAN サービス「IIJ Omnibus サービス」の機能を拡充し、Office 365 等のクラウドサービス(SaaS)への通信を IIJ Omnibus のサービス基盤上で自動的に経路制御する「IIJ クラウドプロキシサービス」を、本日より提供開始いたします。

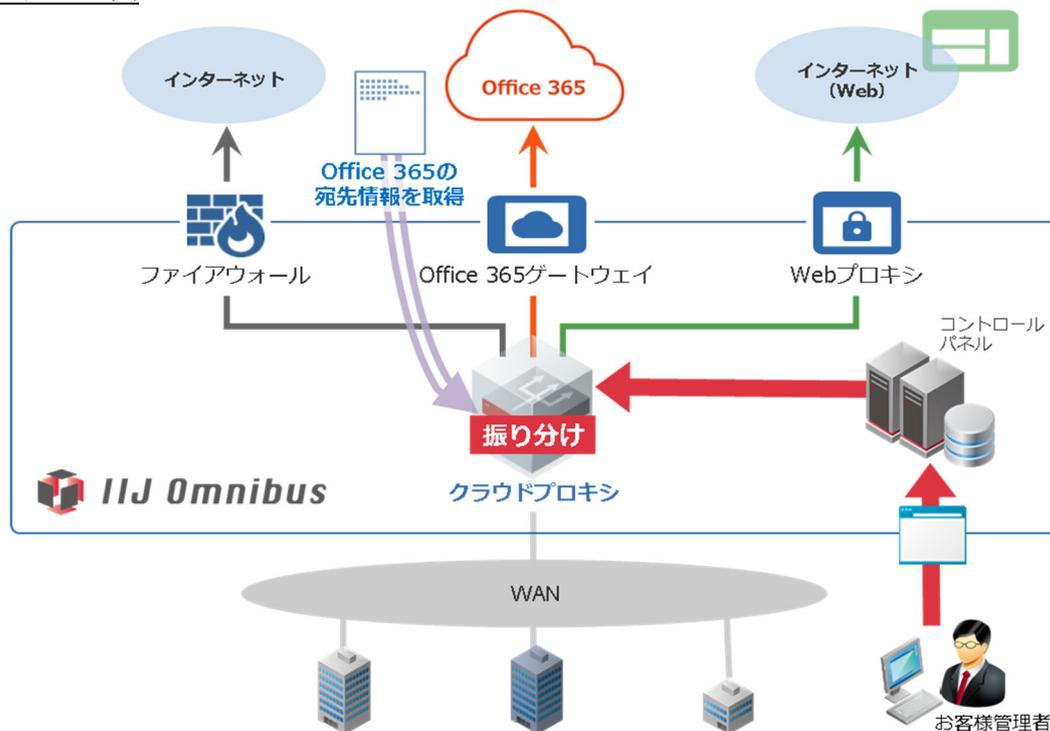
本サービスは、Office 365 を始めとする SaaS への Web アクセスによるトラフィックを、クラウド上にある IIJ 独自開発のプロキシサーバがお客様のポリシーに沿って適切に経路制御するサービスです。お客様はプロキシ機器の運用保守やライセンス管理のコストをかけずに、月額クラウドサービスとしてご利用いただけます。通信経路の振り分けルールが簡単に設定できる Web 管理画面や、Office 365 などの特定 SaaS の宛先 URL がテンプレートとして提供されるため、運用管理者の負荷を大幅に軽減することが可能です。

IIJ では本サービスを、企業ネットワークに必要な機能をクラウド上で実装する「IIJ Omnibus サービス」の新たな機能として組み込み、SD-WAN サービスの一つとしてお客様に提供いたします。

本サービスの特徴は以下のとおりです。

- 1) 用途に合わせた自動振り分け機能をクラウド上で提供  
Web アクセスのトラフィックを最適な経路に自動で振り分けることで、ファイアウォールやプロキシ、Web フィルタリングサーバなどインターネットゲートウェイ機器の負荷を軽減できます。月額のクラウドサービスで提供するため、アセットレス、ライセンス管理不要でお使いいただけます。
- 2) Office 365 の経路情報を自動で更新  
Office 365 は、サーバ構成の変更が頻繁にあり、接続先のアドレス情報(FQDN)が更新されるたびに設定変更する必要があります。本サービスでは、Office 365 のアドレス情報を自動的に取得し、IIJ 独自の宛先リストテンプレートとして提供されます。企業の Office 365 利用では必要でないアドレスの除外も自動更新されるため、管理者の負荷を軽減します。
- 3) 専用管理画面で振り分けルールを編集  
分かりやすい管理画面上で複数の振り分けルールを設定・編集することが可能です。それぞれのルールに優先順位を付けすることで、細やかなコントロールを可能とします。

## サービスイメージ図



## 利用料金

初期費用 : 120,000 円～

月額費用 : 163,000 円～

- サービス詳細については、以下サイトをご覧ください。

<https://www.ij.ad.jp/biz/cloud-proxy/>

IIJ クラウドプロキシサービスは、Microsoft Azure、アマゾン ウェブ サービス(AWS)、Google Cloud Platform(GCP)といったマルチクラウドとの閉域接続サービスなどと組み合わせることで、クラウド利用におけるネットワーク課題を解決し、効率的なクラウドサービスの使い分けを実現します

IIJ では今後も、ネットワーククラウドのサービスラインアップを拡充し、お客様のネットワークにおける課題を解決してまいります。

## 報道関係お問い合わせ先

株式会社インターネットイニシアティブ 広報部 荒井、増田

TEL : 03-5205-6310 FAX : 03-5205-6377

E-mail : [press@ij.ad.jp](mailto:press@ij.ad.jp) URL: <https://www.ij.ad.jp/>

※本プレスリリースに記載されている社名、サービス名などは、各社の商標あるいは登録商標です。